

Lion

IWATE

2013.9
SEPTEMBER



332-B 地区 アクティビティスローガン

イノベーション 時代・地域ニーズにウィサーブ

第34回 レオフォーラム

2013年8月4日(日) 場所：東山地域交流センター



狛鼻溪の自然を満喫 盛会裏に終了！

報告：地区 YCE レオ・ライオネス委員長 L. 小野寺規夫 (室根 LC)

第34回レオフォーラムが、地区内6レオクラブとスポンサークラブのレオ委員等93名の参加で、8月4日(日)一関市東山町を会場に開催された。

はじめに「石と賢治のミュージアム」の旧東北砕石工場などを見学した。この砕石工場は、土

地改良剤の石灰石粉を製造した工場で宮沢賢治が昭和6年に技師として活躍したところである。

その後狛鼻溪に移動し、3艘の舟に分乗して、狛鼻溪の自然を満喫しながらの昼食をとった。狛鼻溪の舟下りは天気も良く、初めてという人が多く大変

喜んでもらえたようだ。

フォーラムは、東山地域交流センター大ホールで一関二高レオクラブメンバーの進行により行われ、各クラブの紹介や年次報告、体験発表などスケジュールどおり盛会裏に終わることができた。



石と賢治のミュージアム見学



弁当を積み込んでサア！ 船出 狛鼻溪舟下り

当日のスケジュール

9:30 ～9:50	受付 (東山地域交流センター)
9:50 ～10:00	開会宣言
10:30 ～11:30	体験学習 (石と賢治のミュージアム)
12:00 ～13:00	昼食&交流会 (げいび溪・舟下り)
13:30 ～15:00	フォーラム (東山地域交流センター)



ガバナー挨拶



年次報告及び意見・体験発表

ガバナー公式訪問

佐々木賢治ガバナーの公式訪問レポートもいよいよ後半5地区です。バリー J. パーマー国際会長の思いと方針、そして自分の考えをより早く各ゾーン内のクラブ会員に伝えたいの熱意でスタートしました。

その公式訪問も8月31日(土)に1ヶ月の超スピード記録を残し、ガバナーの地元4R1Zで最高の歓迎と最大の興奮の中で幕を閉じました。キャビネット三役にとってはこの1年を乗り切る為の大きな元気と勇気をいただいたと思います。

4 R 2 Z

大船渡LC 大船渡北支部 陸前高田LC つどいの丘支部
住田LC 大船渡五葉LC

□訪問日：8月9日(金) □会場：住田町 グリーンベル高勤

報告：ライオンいわて編集委員 L.加藤 栄一 (大東岩手LC)



8月9日(金)住田町グリーンベル高勤に於いて4R2Zの「ガバナー公式訪問」及び「地区ガバナーとゾーン内4クラブ三役懇談会」が開催された。

佐々木賢治ガバナーは、大震災による大きな被害を受けられていたクラブの会員に「こういう時でも、ライオンズの理念を持って進めていただき感謝する」また、「震災復興支援については、今年も継続して全力で取り組む」との力強い決意を述べた。

クラブ三役との意見交換では、スローガン・ガバナーテーマに基づき、「震災復興の現状」「会員の維持、増員」「クラブの活性化」「青少年の健全育成」などが話し合わせ、キャビネットからは家族会員の意義について話があった。

復興の現状と支援について

は、各クラブから「仮設住宅に住んでいるのが、限界に近くなってきている」「隣の声が聞こえ、プライバシーが保てず、ストレスになっている」「主たる町がなくなっている。被災地の盛土さえなっていない。復興がいつになるのかわからない」「学校のグラウンドには仮設住宅が建っていて、子ども達のグラウンドがない」「たくさん支援をいただき感謝しているが、すぐなくなる。引き続き支援をお願いしたい」等々の現状報告や意見が出された。

今後の支援は、「心の問題に配慮した支援」「子ども達に対する支援」「被災地クラ



ブの活動に対する支援の継続」等に力を入れるのが必要、と語る。

公式訪問終了後、引き続き名誉顧問L.米谷春夫のWe Serveで懇親会が始まり、和やかな会になった。

なお当日は、岩手県内に記録的な大雨が降り、被災された方々が大量出ました。震災復興の支援と共に、今回の大雨被害に対しても支援をお願いしたい。



2 R 2 Z

北上LC 和賀LC 北上国見LC 江釣子LC

□ 8月21日(水)

□ 会場：ホテルシティプラザ北上

報告：ライオンいわて編集委員長 L. 菅原 正行 (千厩LC)



大変立派な会場で例会も厳粛にスムーズに運営されました

2 R 2 Zはこれまでも4人のガバナー(及川清ガバナー、岡本由久ガバナー、中村好雄ガバナー、高橋晴彦ガバナー)を輩出したB地区内でも有数の名門のリーディングゾーンです。佐々木賢治ガバナー、鈴木地区幹事、高橋地区会計のキャビネット三役も多少緊張気味でしたが、すでに6地区を終了している経験の裏付けにより地区方針の演説・説明も明快で自信に満ちていました。

キャビネット三役と4クラブ三役との懇談会

ガバナーは家族会員の拡大と協力の重要性、必要性を熱く訴えた。ガバナーが替わる度に家族会員の解釈が変わるような誤

解を与えているが、今年度は正していきたいと述べた。決してクラブ会員増のための数合わせのためではないこと、会の多くのアクティビティが実は家族会員の協力によって成り立っていること、また多くの家族会員を巻き込んだアクティビティを一つでも二つでも創出していただきたいと訴えました。

しかし、ゾーン内のクラブによっては素直に家族会員の拡大は難しいと説明する会長もいました。

地区ガバナー公式訪問並びに4LC合同例会・懇親会

ホテルシティプラザ北上においてゾーン内4クラブから128名の会員が参加して、盛大かつ立派に開催されました。各クラ

ブ幹事報告による出席率は北上LC 74%、和賀LC 83%、北上国見LC 60%、江釣子LC 97%で、平均78.5%の高い出席率でした。

北上LC会長L. 齊藤能久会長による歓迎の挨拶、そして2R2ZZCのL. 藤原宥川によるユーモア溢れる温かい、丁寧な地区ガバナーの紹介にはどっと会場にも笑いがあふれ、和やかなムードでセレモニーが進行しました。

地区ガバナーの方針では、今期も引続き被災地区の支援は続けるが支援の絶対額は前年度よりは小さくなること、ハード面の支援よりソフト面の支援が重視されると説明がなされました。

懇親会に入ると地区常任名誉顧問L. 高橋晴彦の温かい、ユーモアに満ちた祝辞をいただき、地区名誉顧問L. 中村好雄の乾杯の音頭で一気に会場は歓迎のムードが高まりました。地区ガバナーもゾーン内4LCの会員とも親しく、丁寧に杯を取り交わし宴は9時近くまで続きました。

最後は130名を超えるライオンによる大きな輪が出来、また会う日までのコーラスも最高の盛り上がりを見せました。



熱心に方針説明する佐々木ガバナー



L. 中村好雄、L. 高橋晴彦両名誉顧問を左右に合唱する佐々木ガバナー

3 R 1 Z

水沢LC 江刺岩手LC 前沢LC 水沢中央LC
金ヶ崎LC 胆沢岩手LC

□ 8月29日(木) □ 会場：水沢サンパレスホテル

報告：ライオンいわて編集委員 L. 鈴木 隆 (川崎岩手LC)



地区名誉顧問会議長 L. 千葉龍二郎によるロア



水沢駅前に掲げられた地区アクティビティスローガン

地区ガバナー・クラブ三役懇談会

8月29日(木)水沢サンパレスホテル(奥州市)に於いて、3R1Zガバナー公式訪問並びに6クラブ合同例会が開催された。

初めに行われた地区ガバナー・クラブ三役懇談会に於いては、事前に回答頂いていた「質疑要望事項」に沿って意見の交換がおこなわれた。

魅力ある例会と、地元への活動PR

各クラブ共通認識として会員

の減少や高齢化、それに伴う会員増強への取り組みについて意見が交わされた。

「地元企業と協力しPR活動を積極的に行う」、「スポーツ少年団の遠征補助」など、ライオンズクラブ活動を広く知ってもらい、入会のきっかけになれば等、クラブごとの取り組みが発表された。

例会のあり方についても、ゲストを招いた講話の実施、会員自身によるスピーチや、会費の徴収の仕方を変えるなど、会員が参加しやすく魅力ある例会実

施についても意見が交わされ、有意義な懇談会となった。

ガバナー公式訪問・6クラブ合同例会

ガバナー公式訪問・合同例会では、111名の出席のもと、佐々木賢治ガバナーの熱意あるスピーチや幹事会計報告が行われ、つつがなく進行した。またZCのL. 及川信勝による、ユニークなガバナー紹介が行われ笑いが生まれるなど、終始和やかな公式訪問となった。



様々な意見が交わされた懇談会



また会う日まで

3 R 2 Z

一関LC 平泉LC 花泉LC 一関中央LC
一関巖美溪LC

□ 8月30日(金) □ 会場：ベリーノホテル一関

報告：ライオンいわて編集委員 L. 鈴木 隆 (川崎岩手LC)



ユニークなガバナー紹介で会場を和ませた ZC の L. 鈴木雅彦



素晴らしい歌声を披露する一関中央 LC 合唱同好会

地区ガバナー・ クラブ三役懇談会

8月30日(金)ベリーノホテル一関に於いて、3R2Zガバナー公式訪問並びに5クラブ合同例会が開催された。

初めに行われた地区ガバナー・クラブ三役懇談会に於いては、事前に回答頂いていた「質疑要望事項」に沿って各クラブの実情、「家族会員の在り方」、「青少年健全育成」等についてなど意見交換し、東山キャビネットと認識の共有化を図った。特に高齢化等の会員減少に対し、「人数不足によるアクティビティの制限」、「ゾーン内での連携化」等の、会員増強維持の意見が出された。

挨拶を行い、改めて「復興支援」、「家族会員の再認識とクラブ活性化」等を熱く語られた。また幹事会計報告行われ、公式訪問はつつがなく行われた。

素晴らしい余興が行われた懇親会

懇親会に於いては、L. 菅原リツコとL. 高橋恒司の司会で進行し、L. 高橋幸喜の乾杯に始まり終始和やかな懇親の場となった。懇親会の中で余興として、ゲストを招いた歌謡ショー

や、一関中央LC内の合唱同好会(今回他クラブへのお披露目は初とのこと)によるピアノ生演奏を交えた素晴らしい歌声が披露され、懇親会に華を添えた。



記念品を頂き、感謝のロア

5 LC 合同・ ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問・合同例会では、90名の出席のもと、L. 芦萱敬一の開会ゴングにより始まった。佐々木賢治ガバナーが



また会う日までを大合唱

4 R 1 Z

千厩LC 大東岩手LC 東山LC 藤沢岩手LC
川崎岩手LC 室根LC

□ 8月31日(土) □ 会場：室根町 佐福会館

報告：ライオンいわて編集委員長 L. 菅原 正行 (千厩LC)



6クラブ三役を前に今年度方針・考えを熱く語る佐々木賢治ガバナー



ひな壇にキャビネット役員が勢揃いし、ライオンズクラブの歌を熱唱

最後の公式訪問の取材担当はライオンいわて編集委員長という役割分担でクラブ三役との懇談会、そしてガバナー公式訪問・ゾーン内6クラブ合同例会と取材した。

最後の訪問ゾーンは地元4R1Zということで、キャビネット三役の表情も大変穏やかで自信に満ちたものでした。迎える我々4R1ZのZC L.小野寺義直も「お疲れ様です、お帰りなさい！ご苦労様です！」とまことに優しい、心のもった歓迎ぶりでした。

当日の各クラブの出席状況を報告します。

会員総数	142名
参加会員数	89名
千厩LC	18名(75%)
大東岩手LC	8名(50%)
東山LC	18名(58%)
藤沢岩手LC	13名(50%)
川崎岩手LC	8名(42%)
室根LC	24名(92%)
参加会員数	平均 62.3%

室根LCは地元開催ということで、積極的に大変高い参加率で参加し、また、家族会員の温かいもてなしもあり、公式訪問を大いに盛り上げました。しかし、地元出身佐々木賢治ガバナーを迎える公式訪問であることを考えると、参加会員数平均

62.3%は誉められた数字ではないと反省するものです。

佐々木賢治ガバナーの会員に向けたメッセージは、①大震災後2年5カ月経過しても被災地に向ける思い、支援に変わることはないこと。アラート委員会を中心に積極的に対応すること。ハード面の支援からソフト面の支援に重点が変わること。②家族会員をもっともっと大事にしていくこと。家族会員の協力による奉仕事業を一つでも二つでも考え、実行してほしいこと等が力強く語られた。



L.高橋義太郎名誉顧問のご発声でウィサーブ 佐々木賢治ガバナー、この一年頑張ってください！



最後は「また会う日まで」を参加者全員で気分最高、ハーモニーも最高でした！

どのクラブ三役も就任と同時に悩むのが、クラブアクティビティを何にするかの課題でしょう。継続事業か新規の事業か常に悩む課題です。

そこで、今回から素晴らしいアクティビティを展開しているクラブに登場いただき、そこから何かを学ぼうという考えで特集を組んでまいります。どうぞお楽しみに。

わがクラブ 自慢のアクティビティ

1 盛岡中津川 LC

会長 L. 米澤 俊夫

この度は、ライオンいわて特集企画にトップバッターでご指名いただき、大変光栄に存じます。この場をお借りし、我がクラブのアクティビティを2～3紹介させていただきます。



青少年健全育成プロジェクト 白石正範館長と門下生による剣道講習会

陸前高田市竹駒保育園支援事業 —手作りパペット劇に感動する子ども達—

まず、前期第59回年次大会にてアクティビティ大賞金賞を受賞した「震災復興支援」に基づくアクティビティとして行った「陸前高田市竹駒保育園支援事業」は、つらい時期を過ごしてきた子ども達が、キラキラした瞳で私たちの手作りのパペット劇を食い入るように見て喜んでくれたあの姿が忘れられない、心に残る感動のアクティビティでした。また、この事業は陸前高田ライオンズクラブのお力添えがあればこそ出来たアクティビティでもあり、心より感謝申し上げます。

忘れてはならない被災地陸前高田と盛岡中津川ライオンズクラブを結ぶ大切な事業として、今後も継続していきます。「来年も来るのかなあ～」という子ども達の一言で「来年も来るよ!」と約束しました。次回はもっと内容を充実し、『盛岡中津川 LC パペット一座』子ども達のために頑張ります!

テッカイ感動!! テッカイ夢!! テッカイ未来!! スーパーキッズ支援事業

次に紹介するのは、我がクラブの青少年健全育成プロジェクト「～デッカイ感動!! デッカイ夢!! デッカイ未来!!～」をスローガンに、今年度第35回目を迎える「盛岡中津川ライオンズクラブ杯争奪盛岡地区少年剣道大会」や「いわてスーパーキッズ支援事業」に取り組んでおります。「～デッカイ感動!! デッカイ夢!! デッカイ未来!!～」のスローガンは、CN40周年の会長 L. 吉田昭夫が提唱し、記念事業は毎年当クラブが主催している剣道大会の規模を拡大し、日本トップレベルの道場、栃木県練兵館白石正範館長と門下生による剣道講習会を開催しました。

また、第1000回例会を記念してのアクティビティは時の会長 故 L. 川村勇次郎が、「何か自分達も子ども達と共に夢を追いかけるアクティビティをしよう」と、岩手から未来のオリンピック選手を生

み出そうという「いわてスーパーキッズ支援事業」に取り組み、CN45周年記念事業としても取り組みました。

最近、高校総体などで活躍する選手の中には「スーパーキッズ」に所属していた子どもも出てきており、この事業の確かな手ごたえを感じます。岩手からオリンピック選手が選ばれた時どんなにか皆に勇気・元気を与えることか、そしてその元気が震災復興へと繋がることか…。考えただけで胸が熱くなります。クラブ自身が夢を持った奉仕活動を続け、そして地域と共に喜びを分かち合い元気になり、「We Serve」の原点に立ち返り、この夢のあるアクティビティに邁進していく所存です。

今回、我が盛岡中津川ライオンズクラブのアクティビティに掛ける思いを書かせていただきましたが、これからも常に地域社会に密着したアクティビティにクラブ一丸となり取り組んでいきます。

地区内すべてのクラブには、そのライオン抜きにしてはそのクラブの歴史もアクティビティも語れないような重鎮ライオンが必ずいらっしゃいます。そういうライオンは各クラブにおいては、おらがクラブの名物ライオンと言っても良い存在だと思います。今回から特集を組み、名物ライオンに登場いただき、次世代ライオンへ元気と勇気をいただきたいと思います。

おらがクラブの名物ライオン



地区常任名誉顧問・GMT地区コーディネーター

かつじ

L. 種市 一二 (釜石LC)

■プロフィール

生年月日：1936年1月10日

ライオン歴：1988年7月

釜石ライオンズクラブ入会

2000年7月～2001年6月 クラブ会長 C N35周年大会会長

2009年7月～2010年6月 332-B地区ガバナー

2010年7月～2011年6月 332-B地区名誉顧問会議長

2011年7月～2014年6月 332-B地区常任名誉顧問・GMT地区コーディネーター

2010年7月～2012年6月 ライオン誌日本語版委員会委員

国際大会・OSEAL フォーラム参加、夫婦皆勤賞！ 国際大会 11 回、OSEAL フォーラム 13 回

出会い・会話・若返り、
今後もおしどり参加

このコラムをクラブの事情があつて自ら俄かに書く羽目になって変な気持である。

名物ライオンと思つてもいないが、編集委員長より、国際大会及び OSEAL フォーラムにワイフと連れだつて参加していることを指摘されたものと受け止め、エッセイのつもりで書くことにします。

言われてみればクラブに入会して 10 年目、初めて第 37 回 OSEAL フォーラム（日本・横浜）に参加して以来第 51 回福岡大会まで 13 回、また、国際大会はクラブ会長に就任した 2000 年度の第 83 回ホノルル大会から今年第 96 回ハンブルク大会まで 11 回、合わせて 24 回の参加となりました。



2013 年ハンブルク国際大会にて
エバハルト J. ヴィルフス元国際会長夫妻と感動の再会

何時も夫婦で参加するのでだんだん目立つようになり、地区以外のベテランライオンからも声を掛けられ励まされたことは刺激となつて、これまでの連続参加に繋がってまいりました。また、地区ガバナー就任以降は顔なじみの出会いも多く、会話も弾み、一

つ二つ若返つた気分も湧いてまいります。

今ではワイフもれっきとした(?) 家族会員。第 100 回シカゴ国際大会まであと 4 年、よぼけ・とぼけはノー天気、アベックで代議員投票に参ります。国際大会委員さん、その節はよろしく頼みます。

地区内すべてのクラブの大きな課題の一つは会員拡大でしょう。クラブ会員の平均年齢は高くなり、アクティビティ実施も困難な状況に陥っています。そこで求められるのは若いライオンへの入会によるクラブ活性化です。今回から新入会員の拡大に成功し、クラブ活性化に成果を上げているクラブの新入会員に登場いただき、ライオンズクラブに向ける夢と希望を語っていただきます。お楽しみに。

おらほの元気な新入会員



① 東山 LC

文責：東山 LC 幹事 L. 佐藤 力



L. 佐藤 巳義 (48才)
 入会日：2013年4月1日
 職業：東山印刷 代表取締役
 役職：消防第2分団 班長

■入会のきっかけ

3年前から入会を勧められ、断り続けてきたのですが、若い人たちも入会し、「入会するなら今だ。」と決心した次第です。

■今後の夢&希望

奉仕すると言うことは悪いことどころか、とても素晴らしいことです。それを無心になって心から奉仕できたら自分自身を高める大きな力となると思います。地域に少しでも貢献できたら、こんなに嬉しいことはありません。

他人の空言

責任感が強く仕事はきちんとこなす。まろやかなフェイスな割には「自分の世界」を持っている。壮年&朝ソフトボールではピッチャーをこなすスポーツマンでもある。



L. 岩淵 新助 (63才)
 入会日：2013年8月1日
 職業：(有)岩新 店主
 役職：東山商業協同組合 理事長
 一関市防犯協会 東山地域
 長坂分会 事務局長

■入会のきっかけ

先輩ライオンズクラブ員と同僚に誘われて。

■今後の夢&希望

奉仕活動やボランティア活動に興味を持っていたが、先輩に誘われてその機会がやってきた。これからは青少年健全育成事業を重点にして取り組みたい。

他人の空言

酒屋を経営しているが、酒をこよなく愛し飲むほどに愉快になる。カラオケ&踊り(女装?)は一流で、一見の価値有り。



L. 千葉 拓平 (54才)
 入会日：2013年8月1日
 職業：(株)千葉春 代表取締役
 役職：長坂1区自治会 副会長、消防第1分団 班長

■入会のきっかけ

先輩ライオンズクラブ員と同僚に誘われて。

■今後の夢&希望

入会した以上は、これからの若い世代にライオンズクラブの良さ・魅力を引き継いでいきたい。

他人の空言

何事にも積極的で、地域の行事があると必ず顔を出し、盛り上げ役を果たしている。会社経営はもちろん、いろいろな人(会員)との交流で自己成長をしたいと張り切っている。

キャビネット三役 被災地をまわる

報告：キャビネット幹事 L. 鈴木 正敏（東山LC）

被災地を訪問して その①

8月7日(木)、公式訪問のまっただ中、佐々木賢治がバナー、高橋政智会計、小生の3人で、宮古から北上して、まず岩泉の小本まで足を伸ばし、田老～宮古～山田～大槌～釜石と南下して被災地を垣間見ることができた。国道45号線沿いの海岸は、どこも復旧工事中でダンプが行き交ったりテトラポットが積み重なっていたり、パワーショベルが精力的に動いていたりして、同じような光景であった。

その中で、田老のあの有名なX堤防のど真ん中の頂上（高さ約10m）に立った時のこと。偶然地元の民生委員さんが2人いて、震災についてお話を聞くことができた。印象に残ったのは、「震災の時、一人暮らしの家を訪ねて歩いたが、特に女性宅は鍵をかけていて呼び出すのに大変であった。」「このような



高い堤防があるので、家に居て避難しない人（特に高齢者）が結構いたようだ。」「仮設住宅には支援物資などの物はあるが、長い生活でストレスが貯まってきている人が多い。」「仮設住宅は、床もきしんできているし、隣の家の声が聞こえてくる。」「今後は、物資よりも心のケアを中心にした支援をして欲しい。」「一番は早く自分の（新しい）土地に自分の家を建てたい。」「……などである。

被災地を訪問して その②

大槌では、前ゾーンチェアパーソンのL.大萱生修一（大念寺副住職）を訪ねたが、あいにく留守でお会いすることはできなかった。お寺の裏に回ると急斜面にお墓がたくさん整然と建っていたのにはびっくりした。また、寺の入口近くには「津波到着の地」と記した角柱の石碑が建っていたが、こんな奥（高さ）まで津波がきたのかと改めて驚嘆した。

釜石では、鉄のミュージアムの近くにある震災で亡くなられたクラブ会員の慰霊塔（石碑）を訪ねた。これは2012年5月



にライオンズクラブ332-B地区で建立したものである。石碑の裏を見ると22名の名前が刻まれていた。3人で参拝をしたが、亡くなられた会員のことを想うとき、道半ばで逝ったことはどんなに悔しかったことか。本当に残念でならない気持ちでいっぱいになった。亡くなられた会員のためにも、これから三役を中心としてこの332-B地区を盛り上げていって活気のあるキャビネット運営をしていきたいと改めて思った次第である。

朝から7時間に及ぶ（小本から釜石まで南下して約90km）被災地訪問であったが、「百聞は一見に如かず」の通り有意義な訪問であった。



川崎橋LC L. 本田夫妻 被災地を慰問

報告：L. 熊谷 朝明（一関中央LC）

2013年8月12日、川崎橋LC（神奈川県川崎市）のL. 本田夫妻が大船渡市の児童養護施設「大洋学園」と一関市の児童養護施設「一関藤の園」の2か所を慰問され、乳幼児にはおもちゃ、低学年児童には学用品、その他の児童には図書券と約

120人分のプレゼントを用意、一関中央LC、L. 熊谷及び藤沢岩手LC L. 福地の案内で無事に届けることが出来ました。

L. 本田夫妻との出会いはFBライオンズサイトで知り合い交流を続けていた折に、L. 本田夫妻より東北3県岩手、宮城、

福島での養護施設を調べて欲しいとの要望があり、今回の訪問となった次第です。

L. 本田夫妻には遠くから睡眠不足とお疲れの中、お出でいただきありがとうございます。只々感謝申し上げる次第です。

L. 本田夫妻より

12日からの2泊3日1,300km東北被災地から無事に帰宅しました。

1日目は一関中央LCのL. 熊谷と藤沢岩手LCのL. 福地に同行いただき、岩手県大船渡の児童養護施設「大洋学園」刈谷園長と一関の児童擁護施設「一関藤の園」渡部副園長、2日目は気仙沼の「旭が丘」小原園長、宮城県仙台市の「済生会乳児院」庄司院長と仁田施設長、同じく仙台キリスト教育児院「丘の家乳児院ホーム」の大坂園長にお迎えいただき、当社を含めて寄付をいただいた川崎橋LC、横浜たちばなLC、お子様を含め参加者の皆様に代わって支援をさせていただきました。

岩手では被災で両親を亡く

した子ども達は180名、片親を亡くした子ども達は70名のうち施設に入所したのは3名、宮城では被災で親御さんを亡くした子ども達は100名で、施設に受け入れられたのは2名だったそうです。殆どの子ども達は祖父母や親戚に引き取られていったようですが、各施設側としても短い間に懸念もあると心配をされていました。

個人的には、子どもは親元で成長していくことが一番だと考えていましたが、親からの虐待と育児放棄が60%～70%と高く、親の経済的、精神的余裕の無さからのストレス発散のターゲットが子どもになっていきます。親の手にかかり悲しい出来事もある

中、まだ施設に入れた子ども達は救われているのかも知れません。

102年の歴史をもつ(社)仙台キリスト教育寺院では小松島一体に乳児園、知的障害、精神障害～特別老人施設が集合し、お互いに行き来をし合っ



一関 藤の園
左から L. 本田夫妻、渡部副園長
L. 福地、L. 熊谷

※ L. 福地恵理子（藤沢岩手LC）
地区アラート復興支援副委員長



大洋学園（大船渡市）
児童養護施設
定員 56 名
保護者のいない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させ、これを擁護する目的の施設



一関藤の園（一関市）
児童養護施設
定員 60 名
カトリックの愛の精神に基づき、円満な人間形成を目指し、養育にあたる

8月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡 LC		
盛岡不來方 LC	8日	直接献血
	27日	盛岡レオクラブスポンサー協力金
盛岡中津川 LC	27日	盛岡レオクラブスポンサー協力金
盛岡観武 LC	17日	献血推進活動
盛岡南 LC	11日	盛岡花火の祭典後の清掃活動
滝沢 LC	29日	献血推進活動
玉山姫神 LC	6日	ライオンズ公園整備事業
1R2Z		
岩手 LC	6月28日~8月1日	第33回巣箱作り講習会
	4日	ユネスコ「2013 平和の鐘を鳴らそう」協力
二戸 LC	25日	献血推進活動
	31日	第18回ユネスコ運動岩手県大会
西根 LC	7日	ライオンの森の手入れ
	23日	八幡平市民憲章推進協議会総会
安代 LC	3日	第22回りんどろ夏祭り
	27日	献血推進活動
2R1Z		
花巻 LC	4日	第20回豊沢川クリーン作戦
	18日	花火大会会場河川敷清掃
紫波 LC	23日	第1回薬物乱用防止推進活動
	25日	ライオンズの森環境整備
石鳥谷 LC	5日	第39回石鳥谷書道大会
	24日	第12回児童福祉施設ふれあいソフトボール大会
	25日	石鳥谷夢まつり協賛
	26日	清掃奉仕 夢祭り会場の清掃
大迫早池峰 LC		
花巻東 LC	17日	清掃活動
	4日	ライオンズの森の草刈り
東和猿ヶ石 LC	9日	東日本大震災被災者支援 仮設住宅住民と「お茶会」
	10日	東日本大震災被災者支援 仮設住宅の児童・父兄を「カトムジーム」へ招待
	7日	水辺の里 環境整備と周辺の清掃
矢巾 LC	17日	「特別養護老人ホーム・カーサ南店」夏祭り協力
	24日	すくすくネットワーク巡回指導
2R2Z		
北上 LC	7月1日~31日	資源回収リサイクル活動(事業資金獲得)
	5日	LCIF \$1000 献金 2件
	18日	花壇整備と清掃奉仕活動
和賀 LC	7月31日	献血推進活動
	7月1日~31日, 8月28日, 29日	資源回収
北上国見 LC	11日	環境保全 清掃活動
	17日, 20日	献血推進活動
江釣子 LC	6, 20日	資源回収 (事業資金獲得)
	12日	献血推進活動
3R1Z		
水沢 LC	3日	「後藤新平像」及び周辺の清掃奉仕
	21日	LCIF \$1000 献金
	24日	水沢フラワーロード全体作業
江刺岩手 LC	7月31日	岩手被害者支援センターへ抛出
	27日	えさし交流マラソン大会協賛
	29日	オール江刺軟式野球部への抛出
前沢 LC	2日	献血推進活動
	18日	「まえさわ苑」夏祭り協力
水沢中央 LC	6日	JR 水沢江刺駅前清掃
	24日	水沢フラワーロード全体作業
金ヶ崎 LC	10日	献血推進活動
	15日	緑の郷夏祭り後援
	22日	LCIF \$1000 献金

3R1Z		
金ヶ崎 LC	25日	24時間テレビ「愛は地球を救う」募金活動
	31日	劇団「Zの風」旗揚げ公演後援
	31日	高齢者福祉「人生いどろ」金ヶ崎上映会後援
胆沢岩手 LC		
3R2Z		
一関 LC	1日	H25 年度暴力団追放一関地方協議会総会
	23日	周年記念像の手入れ及び市役所前清掃
平泉 LC	5日	平泉をきれいにする会
	5日	リレーフォーライフ 2013
	21日	暴力団追放一関地方協議会
花泉 LC	4日	花泉町夏まつりフリーマーケット(事業資金獲得)
	7日	使用済み切手 1,000 枚送付
一関中央 LC	11日	月一労力奉仕
	20日	バスケットボール助成金
一関巖美溪 LC	3日	「巖美溪」溪畔清掃活動
4R1Z		
千厩 LC	1日	駒場交流公園草刈り清掃作業奉仕
	21日	暴力団追放一関地方協議会賛助金抛出
大東岩手 LC	26日	使用済み切手 2,457 枚送付
東山 LC		
	5日	洪水被災地へ支援物資発送
藤沢岩手 LC	10日	藤沢町野焼まつり協賛
	10日	藤沢中学校ソフトボール全国大会出場支援
川崎岩手 LC	4日	川崎小学校女子ソフトボール全国大会支援
	16日	川崎花火大会に物故会員供養花火提供
	17日	地域子供会合同のゴミ拾い
	31日	両磐地区中学校女子ソフトボール大会後援
室根 LC	4日	室根町内 JR 駅の清掃作業
4R2Z		
大船渡 LC	4日	夏祭り会場清掃奉仕
	4日	大船渡教育委員会に寄付
陸前高田 LC		
住田 LC		
大船渡五葉 LC	5日	献血推進活動
5R1Z		
宮古岩手 LC	9日	宮古市国際交流に関する意見交換会
久慈 LC	21日	わたしの主張久慈地区大会協賛
	26日	「ふれあい福祉まつり」バザー物品提供
陸中宮古 LC	1日~27日	千羽鶴作成
	9日	宮古市国際交流に関する意見交換会
	21日	レディーの会 奉仕活動
田野畑 LC	28日	献血推進活動
岩泉龍泉洞 LC	27日	献血推進活動
5R2Z		
釜石 LC	21日	LL 奉仕活動
	4日	遠野市一斉河川清掃
遠野 LC	9日	使用済み切手 3,000 枚送付
	21日	リサイクル品回収
釜石リアス LC	9日	釜石市戦没者追悼式
	26日	使用済み切手 1,000 枚送付
大槌 LC		
陸中山田 LC	2日	山田町小学校水泳記録会
ライオンズクラブ		
西根 LS	27日	献血推進活動
レオクラブ		
盛岡 LEO	4日	第34回地区レオフォーラム
早池峰 LEO	4日	第34回地区レオフォーラム
石鳥谷 LEO	4日	第34回地区レオフォーラム
北上 LEO	4日	第34回地区レオフォーラム
一関二高 LEO	4日	第34回地区レオフォーラム
釜石 LEO	4日	第34回地区レオフォーラム

ガバナー雑感

獅子奮迅

敬老の日に思う 老いは誇り

地区ガバナー L. 佐々木 賢 治

季節も移り、田んぼも黄金色に染まり収穫を迎える候、各地で敬老会が開催された。私も地域の敬老会に出席した。

敬老の日は、従来の老人の日を昭和41年に9月15日を敬老の日とし、国民の祝日の一つと定めたものだ。国民の祝日は年間15日あり、今年9月16日が敬老の日である。

高齢化の中で当祝者の対象年齢も上がっており、一関は80歳で他は75歳、77歳等様々である。戦争を体験され、明治・大正・昭和の激動の時代を生き、今日を築いてこ

れました。そして今があります。敬老者の皆様に感謝をする日です。国内に於ける100歳以上は5万4千人超で最高齢者は115歳とのことです。

100歳で思い浮かぶのは、当時テレビコマーシャルで一躍有名になった名古屋の「きんさんぎんさん」です。平成6年8月1日、相撲の東関部屋のご縁により東山町に生まれ、102歳の誕生日を迎えたのでした。

もう一つ敬老の日の思い出に、平成15年に当時東山中学校の生徒が書いた作文「ありがとう人生の大先輩 老い

も誇り」があります。

「ひいじいさんが運動会で神楽の太鼓を叩くのが嫌で恥ずかしかったが、その素晴らしさに、何で恥ずかしいなんて思っていたのか。誰だって年を重ねれば体や思考が衰えるのは当たり前なのに。老いとはひいじいさんのような強い人、経験豊かな人だけに与えられる最大の勲章だ。私は尊敬していきます。社会全体も高齢者が偉大な人生の先輩として尊敬される世の中になってほしい。」と結んでありました。みんなでそんな社会を…。

訃報



故 L. 落合 懸男

享年77歳(宮古岩手LC)
1991年7月入会 8月8日逝去



故 L. 箱石 保幸

享年75歳(宮古岩手LC)
1991年3月入会 8月12日逝去



故 L. 鈴木 俊彦

享年79歳(東山LC)
1971年3月入会(チャーターメンバー)
8月13日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

会員動向

8月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
滝沢 LC	柴田 さよ子
岩手 LC	岩 舘 茂
二戸 LC	泉山 久美子
北上 LC	斎藤 良子
	千田 恵子

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
北上 LC	吉川 伸子
一関蔵美溪 LC	金木 大介
大東岩手 LC	佐藤 徳幸
東山 LC	岩 淵 二美子

(9名)

MJF \$1000 献金者

クラブ名	会員名	回数
北上 LC	斎藤 能久	1
北上 LC	千田 正俊	1
水沢 LC	千葉 龍二郎	8
金ヶ崎 LC	小野寺 逸夫	1

アクティビティ Photo グラフ

Activity Photograph



花巻 LC

花火大会会場河川敷清掃



花泉 LC

花泉町夏まつりフリーマーケット



岩手 LC

第 33 回集箱作り講習会



金ヶ崎 LC

24 時間テレビ「愛は地球を救う」募金活動



石鳥谷 LC

夢祭り会場の清掃



水沢 LC

水沢フラワーロード全体作業



紫波 LC

第 1 回薬物乱用防止推進活動



滝沢 LC

献血推進活動



千厩 LC

駒場交流公園草刈り清掃作業奉仕



安代 LC

献血推進活動



西根 LC

ライオンの森の手入れ



西根 LS

献血推進活動

表紙の写真：一関市東山町「唐梅館絵巻」

毎年秋に東山町の唐梅館総合公園で開催される「唐梅館絵巻」は、400 年前の軍議の様を再現したものです。唐梅館は葛西氏が領内を守った本拠地です。天正 18 (1590) 年には小田原参陣の評定として豊臣秀吉に従うか否かを決定する軍議が行われました。鎧武者による参上行列や一族の命運をかけた「軍議の様子」を壮大なスケールで再現するイベントです。毎年軍議の総大将役には有名なタレントが起用されるのも話題の一つで、今年の総大将はタレントの山田親太朗さんです。

編集後記

佐々木賢治がバナー率いるキャビネット三役の公式訪問も 8 月 31 日の地元 4 R 1 Z で無事終了。本当にご苦労さまでした。

今回、公式訪問にはライオンいわての編集委員が取材の立場で直接出席させていただき、自分の思いのままに、自由に取材し、記事にさせていただきました。三役懇談会から懇親会におよぶクラブ三役との意見交換、そして各ゾーンクラブ会員との心のこもった交流までを編集委員自らの感ずるがままにその感動・興奮をお届けしました。いかがだったでしょうか。
(編集委員長 L. 菅原 正行)

ライオンズクラブ国際協会 332-B 地区
キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行 2013 年 9 月 25 日

発行人：L. 佐々木賢治
編集委員長：L. 菅原 正行
副委員長：L. 藤沢 誠 L. 渡辺 和敏
編集委員：L. 加藤 栄一 L. 小岩 文雄
L. 鈴木 隆

印刷：トーバン印刷株式会社
編集事務局：〒029-0302
一関市東山町長坂字西本町123-2
TEL (0191) 47-4251
FAX (0191) 48-3751